

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年5月19日（月）

2 確認箇所

増設多核種除去設備（図1）

3 確認項目

増設多核種除去設備点検作業の状況

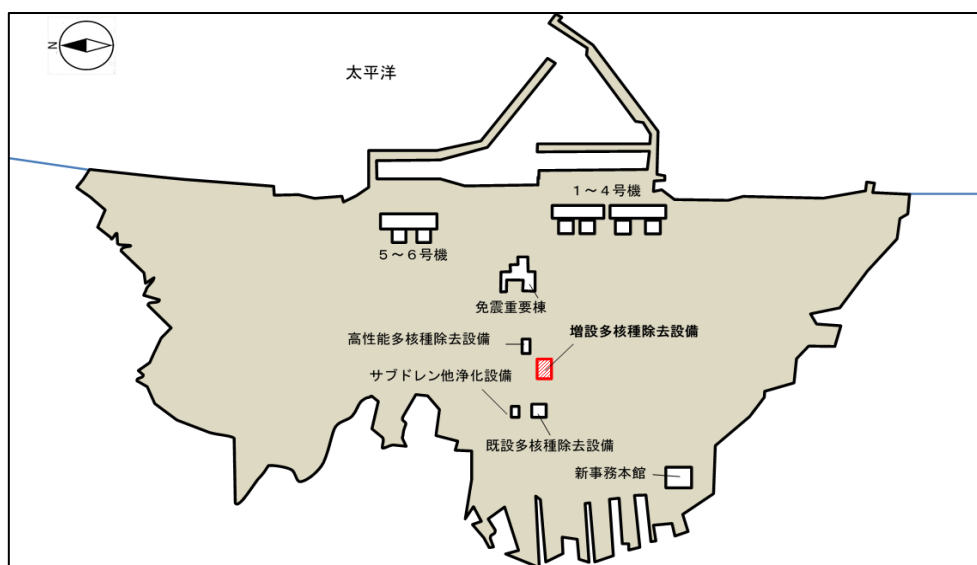
4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染（令和5年10月）」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい（令和6年2月）」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。そのため、汚染水処理設備の運転状況や設備機器の点検状況を適宜、継続確認している。

本日は、増設多核種除去設備（以下「増設ALPS」という。）建屋内で実施されている吸着材交換作業の状況を確認した。（前回確認：令和7年4月23日）

- 当日の増設ALPSは、A系が運転中、B系が停止中、C系が循環待機であった。
- 現場確認時、吸着材の抜き出し作業が実施されていた。吸着塔及びHIC※の設置箇所に配置された作業員が、互いに無線機で連絡を取り合いながら、連携して作業を進めていた。（写真1）
- 吸着塔周囲で作業に従事する作業員は、汚染防止のためアノラックを着用していた。作業員が複数人で手順書や系統図を確認しながら作業を進めており、東京電力社員も立ち会っていた。また、免震重要棟集中監視室と連携を取りながら作業が行われていた。（写真2）
- 建屋内を確認した範囲では、配管や設備からの漏えい、水たまり等の異常は認められなかった。

※HIC：High Integrity Container の略。汚染水の処理過程で発生した吸着材やスラリーを保管するための高性能容器。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1)
吸着材抜き出し作業の状況



(写真 2)
手順書、系統図の確認状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。